

サービスを空間で表現 人の感性に寄り添うインテリアデザイナー



飯島 直樹

Naoki IIJIMA

飯島直樹デザイン室 代表

www.iijima-design.com/

模型飛行機好きが高じて飛び込んだデザインの世界で、様々な商業空間をデザインしてきた飯島直樹デザイン室の飯島直樹氏。「サービスを空間で表現する」をモットーに歩んできた約40年間を振り返り、「最後のインテリアデザイナーになるかもしれない」と語る氏の真意に迫る。

大好きな模型作りの先に

私がデザインの世界に興味を持ったきっかけは、1964年開催の東京五輪で経験したことがベースになっています。当時、中学3年生だった私は模型飛行機が好きで、現在、青山の国連大学がある場所は、もともと都電の操車場で誰もが自由に出入りできたので、よく模型飛行機を飛ばして遊んでいました。東京五輪の開会式当日も、同じように操車場で模型飛

す。60年代にイタリアから影響を受けた、70年代の日本のインテリアデザインは世界で最も盛り上がっていたと言えます。

しかし、アンチをデザインに転換させてきた70年代のデザインも、長くは続きません。80年代に入ると、徐々に素材がフォーカスされるようになっていきました。当時のクライアントだった西武百貨店でも、素材を活かした無印良品が1980年に誕生します。当時は、今のような規模にまで成長するとは誰も思っていませんでしたが、ちょうど時代の変わり目にあつたように思います。

1985年に飯島直樹デザイン室を設立しました。西武百貨店で大きな仕事を任されてきた中、独立後は自分のカラーを出そうと、いささか

行機を飛ばして遊んでいると、自衛隊の飛行機が五輪のマークを描いたのと私が飛ばしていた模型がオーバラップしたのです。それがすごく嬉しくて、今でも鮮明に覚えています。

高校卒業後は、アングラブームが起こり、横尾忠則さんの作品に憧れていました。模型を作ったり、絵を描いたりすることが好きだった私は、デザインの学校に進学しようと、デッサンの予備校に通い始めました。そして得意だった模型作りが活かせる武蔵野美術大学工芸工業デザイン科に入学しました。

大学に入学した1969年、武蔵野美術大学では「大学運営に関する臨時措置法案」立法化に反対する大学紛争真っ盛り。しかし背景にはカウンターカルチャーの流れがあり、海外的思想や哲学などに触れる機会が

過剰なデザインばかりしていました。

しかし90年代に入ると、とがったデザインは否定され、マーケット志向のデザインが登場してきます。しかしアンチという発想は、いつの時代にも共通しているデザインの潮流です。現在、IT業界が隆盛の中にある一方で、素材にこだわり、個人の内面へと踏み込もうとする傾向が若手デザイナーの間で多くなっています。

バブルが崩壊した後は、日本全体が静かにならざる得なくなりました。その中で、日本企業もグローバル化を加速していきます。資生堂もその一つで、中国で5000店を新規出店する目標を掲げて海外進出に動き出します。それに先駆けて、資生堂はニューヨークにグローバルブランドの旗艦店を出店し、アメリカ発でアジア

多く、今になってとても役に立っています。3年生になってインテリアデザインを専攻し、卒業後は西武百貨店にインテリアデザイナーとして、1973年に入社しました。当時の西武百貨店は三流、四流のデパートと言われていましたが、一流デパートになろうと躍起になっていました。実際に1980年代には売り上げ1位に躍り出ます。そうした現場を経験できたことは、私の人生にとっていい経験になりました。

コンセプトを磨いた
スーパーポテト

本格的なデザインの勉強がたくて西武百貨店を1年半ほどで退社し、スーパーポテトのドアを叩きました。杉本貴志さんと田中一光さんのお二人の下、最先端のインテリアデザインを学びました。当時、「形のデザインはするな」と口すっぱく言われていたので、コンセプトからデザインを考える手法を、そこで修煉させることができたと思っています。

1970年代は20世紀の反動として新しいデザインが模索されていた時代です。それは、今あるモダニズムデザインを拒否して、新しいデザインの骨格を作っていたという潮流でのマーケットに訴求していく戦略を展開していました。そのニューヨーク旗艦店を担当させてもらいました。コンセプトは、East Meets West。以後、アジア各国の店舗づくりにも携わらせてもらいました。

サービスを空間で表現する

2008年からは、野村不動産が開発するオフィスシリーズ「PMOプレミアム・ミッドサイズ・オフィス」を10年間で40棟ほど手がけてきました。インテリアデザイナーである我々に期待されていることは、建築士にはあまり馴染みのない「サービスを空間で表現すること」だと思っています。

例えばエントランスロビー。そのビルや会社を表現するメディア空間としてはもちろん、そのビル周辺の街と

■いじまなおき プロフィール

飯島直樹デザイン室 代表
一般社団法人 日本商環境デザイン協会 理事

略歴

1973 武蔵野美術大学造形学部産業デザイン科
工芸工業デザイン専攻卒業
1976-1985 スーパーポテト
1985 飯島直樹デザイン室 設立
2004-2014 社団法人日本商環境設計家協会 理事長
2008-2014 KU/KANデザイン機構 理事長
2011-2016 工学院大学建築学部 教授

著書

Interior Design 空間の関係・イメージ・要素 (共著)
/2003年六耀社発行
飯島直樹のデザイン「カズイシチカ」臨床記録1985-2010
/2010年平凡社発行
ゼロ年代11人のデザイン作法 (監修・企画協力)
/2012年六耀社発行

講演

「Dynamic State」/IFI International Federation of
Interior Designers/Architects Dubai 2009

受賞歴

1987 商環境デザイン賞 入選(EX JUN神戸)
1995 JCDデザイン賞 奨励賞
(資生堂コスメティックガーデン C)
1997 JCDデザイン賞 奨励賞(マルハンパチンコタワー)
1999 JCDデザイン賞 優秀賞(5S ニューヨーク)
2000 JCDデザイン賞 優秀賞(美容室アフロード)
2001 JCDデザイン賞 優秀賞(新文芸坐)
2004 BEST STORE OF THE YEAR 2004 海外特別賞
(ブルーポンド)
2005 BEST STORE OF THE YEAR 2005 受賞
(妻家房 COREDO日本橋)
2006 JCD デザインアワード2006 BEST100 入賞
(秋葉原UDX AKIBAICHI)
2006 JCD デザインアワード2006 銀賞 受賞
(東京糸井重里事務所)
2008 JCD デザインアワード2008 BEST100 入賞
(新宿高島屋)
2009 グッドデザイン賞2009 受賞(PMO)
2014 JCD デザインアワード2014 BEST100 入賞
(工学院大学ラーニング commons B-ICHI)
2015 第23回Asia Pacific Interior Design Awards
2015 入賞(工学院大学ラーニング commons B-ICHI/
トータルワークアウト渋谷)
2016 平成28年度国土交通大臣表彰 受賞